

東奥日報

2020年(令和2年)12月26日(土曜日) (5)

土木遺産 認定祝う



梅野支部長④から認定証を受け
取った小林市長⑤と金子教授

馬淵川放水水路 八戸で記念式典

八戸市にある馬淵川放水水路が土木学会選奨土木遺産に認定されたことを受け、同市は25日、八戸グランドホテルで認定記念式典を開いた。同市や国土交通省の関係者ら約40人が出席し、認定を喜び、同放水路の価値を再認識した。

修一東北支部長(国交省東北地方整備局長)が、小林眞市長と同放水路を選奨土木遺産に推薦した金子賢治八戸工業大学教授に認定証を授与した。

小林市長は、同放水路整備は同市にとって極めて価値の高い事業だったとし「先人たちが未来を切り開き、築き上げた功績が高く評価され、大変誇らしく、喜ばしい」と述べた。

同放水路は1940年に着工し、50年に完成した。多くの洪水の原因となっていた大きく湾曲した河口部を改善し、北東北有数の産業都市八戸の発展の礎となったことが評価され、今年9月18日に認定された。

八工大名誉教授の佐々木幹夫氏が記念講演し、馬淵川の河川改修の歴史などを紹介した。

式典では土木学会の梅野(近藤弘樹)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」